



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

統合失調症、気分障害と診断された方、特に疾患のない方（健常対照者）

【研究課題名】

バイオバンク試料を用いた精神疾患患者血漿の網羅的miRNA発現データベース構築

【研究責任者】

清澤直樹（第一三共株式会社）

【本研究の目的及び意義】

精神疾患（統合失調症、うつ病、双極性障害）患者の血液中の miRNA（分子の量を制御する小さい RNA で多数の種類がある）を網羅的に測定し、バイオマーカー（疾患の目印）開発のためのデータベースを構築する。そのデータベースを用いて、疾患特異的に変化が見られる miRNA をつきとめ、機能の解析をすることにより、疾患の原因解明や、より正確な分類につなげ、新たな治療薬開発を支援します。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）

年齢、性別、診断名、採血時間、重症度、服薬情報

【研究期間】

2023年11月15日から2026年3月31日まで

〇〇〇〇年〇月

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)